

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		消費喚起						
指標名	消費喚起額(千円)							指標の種類
指標式	値引券利用者数 × 2,000円							成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度
目標a				172,000				
実績b	データ等の出典							
東北	交通政策課調べ							
全国								
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標名									指標の種類
指標式								成果指標 業績指標	
年度別の目標値(見込まれる成果による指標)									
指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	最終年度	
目標a									
実績b	データ等の出典								
東北									
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 観光振興等による交流人口の拡大や企業誘致等による産業振興等に不可欠な広域交通ネットワークを維持するため、利用促進が必要である。また、県経済の活性化を図るため、県民等の消費喚起が必要であることから、事業実施が必要であると認められる。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 県民意識調査結果を踏まえたものであり、事業実施が必要であると認められる。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

空港は、県民だけでなく県外在住者も多数利用していること、就航地との関わりが必要なものであることから、県の関与が不可欠であると認められる。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他